

理想の髪に、骨格からデザインする。



ReKERA

〈リケラ〉

リケラは、
リトルが提案する
第3の 카테고리
『ドレッシーケア※』の
第1弾商品です。

※ドレッシーケアについては
最終ページをご覧ください。

リケラは、【髪**の骨格を矯正すること**】を目的とした レドックス (還元・酸化) トリートメントです。
使い方次第で、さまざまな理想の髪に近づけることが可能です。

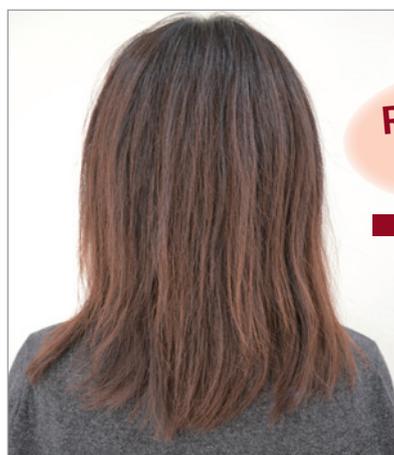
髪を美容整形する — それがリケラの手カラです。

例1

ダメージによって
髪骨格が歪んでいる髪

<30代女性>

膨張しやすく、やや硬毛。
カット・カラーを繰り返して
おり、毎日のスタイリング
ではアイロンを使うことも
多い。



ReKERAで
骨格矯正



私の頭ってこんなに
小さかったんだ!

ダメージが大きく、まとまらない髪に
なっている。

ハンドブローだけでも、この仕上がり。
いわゆる“パヤ毛”も目立たず、何よりも
頭が小さく見えるほどの仕上がり。1ヶ月
後もまとまりがとても良い状態をキープ。

例2

エイジングによって
髪骨格が衰え、ボリュームも
なくなってきた髪

<60代女性>

月に一度、リタッチカラー。
エイジング毛で広がりもある。
サラサラな仕上がりを
夢見ていたが、ボリュームや
髪の動きがなくなるのは
イヤ。



ReKERAで
骨格矯正



こんな髪質は
夢のよう!

パサつき、広がりが目立つ。
サラサラヘアはあきらめていた。

お客さまが絶対に不可能とあきらめて
いた質感が実現できて、大喜び。
ボリューム感や動きも失わず、ツヤも
出て若返ったと、満足度がとても高い。



リケラは、還元・酸化反応を利用する、技術的に難しい粧剤です。

リケラを使うと髪の中で何がこなされるのか？

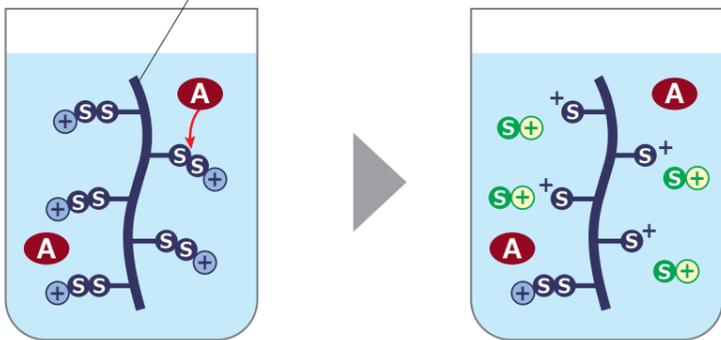
前ページのような結果になるためには、髪の中でリケラはどのように働いているのでしょうか。髪を骨格を矯正する“髪美容整形”を理解することは、リケラの働きを理解することから始まります。まずは、下記のイメージ図で、リケラの働きと髪の状態の変化を追っていきましょう。

※イメージ図です。

リケラの【髪骨格矯正理論】を正しく理解してください。そうすれば、「難しい…」が「楽しい！」に変わります。

1 アクチベーターでリノベーターを**活性化**する A …アクチベーター

アミノエチルジスルフィドケラチン



リノベーターにアクチベーターを混ざった状態

活性化されたリノベーター

リノベーターを活性化させることが、髪骨格矯正でまず初めに行うことです。リノベーターを活性化させるのは、アクチベーターの役割です。

2 髪のケラチンのS-S結合を**開く**

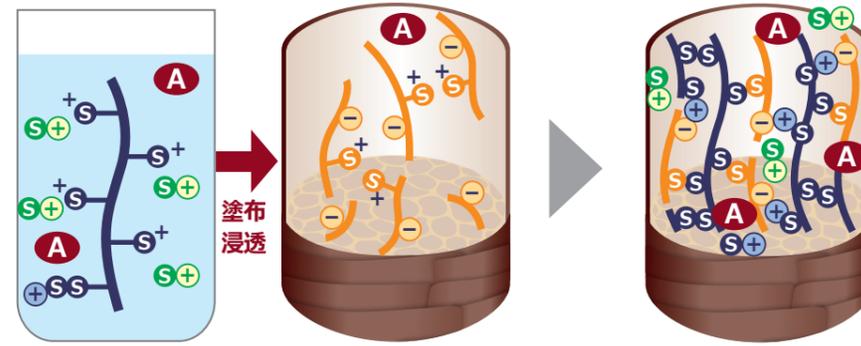


髪に活性化されたリノベーターを塗布すると、アクチベーターが浸透し、髪のケラチンにあるS-S結合を開く

髪のケラチンのS-S結合が開いた状態

リノベーターを髪内部に導入させるため、受ける側の髪のケラチンのS-S結合も開いていきます。活性化リノベーターを塗布すると、そこに含まれるアクチベーターがその役割を担ってくれます。

3 活性化リノベーターを髪に**浸透**させる

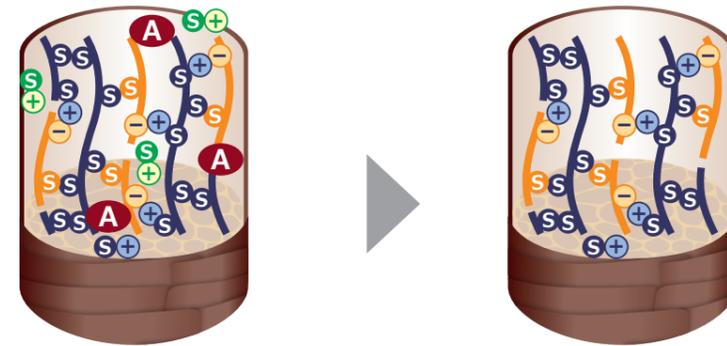


髪に活性化されたリノベーターを塗布すると浸透していく

髪に活性化されたリノベーターが浸透した状態

活性化リノベーターを髪に塗布して内部に浸透させます。これにより、髪骨格を矯正することができます。ここでは、リノベーターの役割であり、リケラのメインでもあります。

4 余分なアクチベーターなどを**洗い流す**

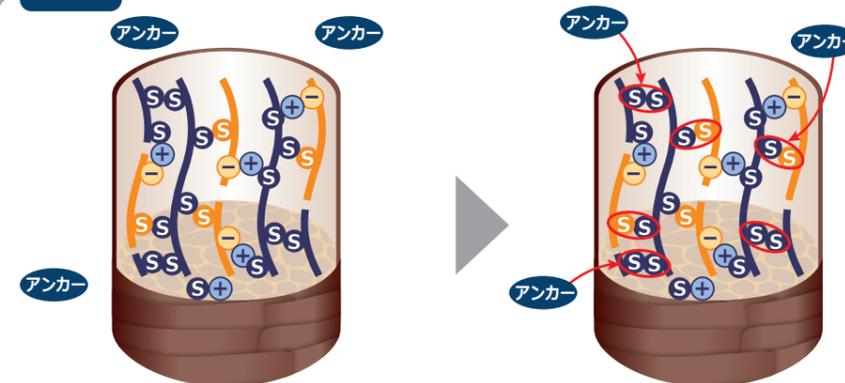


よく水洗する

余分なアクチベーターなどが流れた状態

導入したリノベーターを定着させる前に、余分なアクチベーターなどをしっかりと洗い流します。髪にとって余分なものやジャマになるものは、流しておかなければ結果につながりません。

5 アンカーで**定着**させる



アンカーを塗布する

S-S結合が生成し定着する

最後にアンカーでリノベーターを固定化・定着させます。アンカーはS-S結合を生成させる役割です。このアンカー処理をしっかりやらなければ、せっかく導入したリノベーターも固定化されませんので、注意しましょう。



ご注意

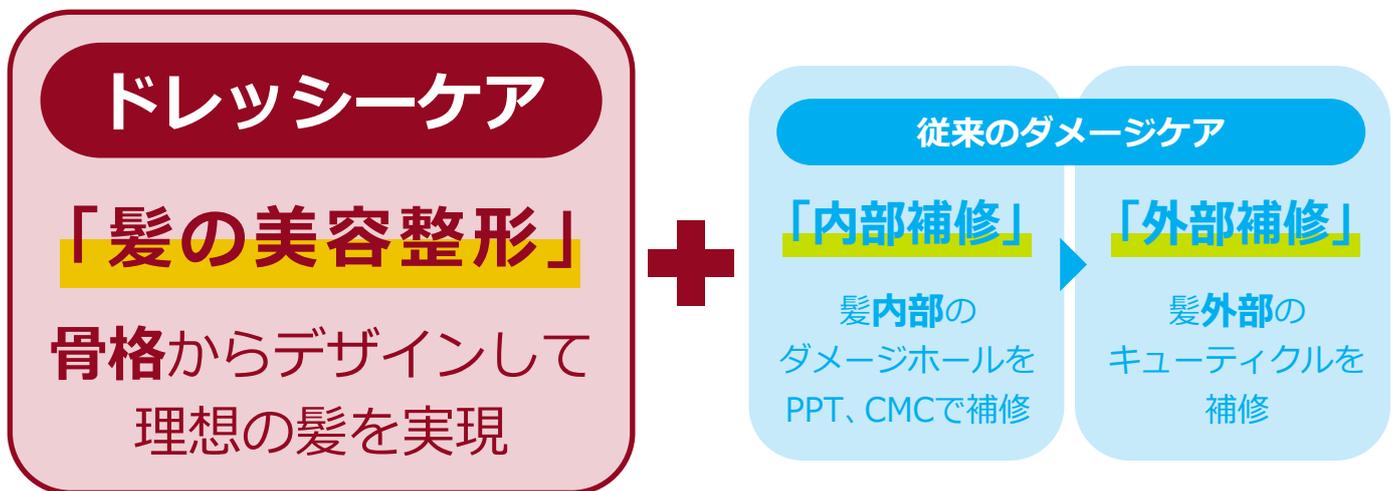
これで、髪骨格が矯正できました。しかし、骨格ができたばかりですので、同時にダメージケア（特に、PPTやCMCを補給する内部補修、バイオキューティクルづくりなどの外部補修）を行うこともまた、重要です。

リケラのラインナップは、5つのアイテムです。

3Dリノベーター	アクチベーター	3Dアンカー
 		 
<p>【販売名】3Dトリートメントローション 【種別】ヘアトリートメント 【pH】6.7 【容量】500g / 2,600円</p> <p>【販売名】3Dトリートメントクリーム 【種別】ヘアトリートメント 【pH】6.7 【容量】500g / 3,000円</p>	<p>【販売名】3D1ソルベント 【種別】ヘアトリートメント 【pH】なし 【容量】100g / 3,000円</p>	<p>【販売名】3D2ローション 【種別】ヘアトリートメント 【pH】6.5 【容量】500g / 1,500円</p> <p>【販売名】3D2クリーム 【種別】ヘアトリートメント 【pH】6.5 【容量】500g / 1,800円</p>
<p>【主な成分】アミノエチルジスルフィドケラチン(羊毛)、セラミドEOP、セラミドNG、セラミドNP、セラミドAG、セラミドAP</p>	<p>【還元成分】チオグリコール酸グリセリル 【還元剤濃度】80%</p>	<p>【主な成分】臭素酸Na、セラミドEOP、セラミドNG、セラミドNP、セラミドAG、セラミドAP、白金、銀 【酸化剤濃度】ブロム酸10%</p>
<p>髪をリノベーションする</p> <p>アミノエチルジスルフィドケラチン</p> <p>この効かせ方で成否が決まる！</p>	<p>リノベーターを活性化させる</p> <p>GMT80</p> <p>これがなければ始まらない！</p>	<p>“くさび”を打ち込む</p> <p>プラチナブロム</p> <p>理想の髪は、最後にアンカーで創り込め！</p>

※リケラは、この3つの役割を理解して「使いこなす」粧剤です。

『ドレッシーケア』— それは、第3のカテゴリー。



ドレッシーケアとは、「理想の髪に、骨格からデザインする。」をコンセプトにした、いわば「髪美容整形」です。そのため、従来の「ダメージケア」や「スカルプケア」とはカテゴリーが異なります。

しかし、第1のカテゴリー「ダメージケア」や、第2のカテゴリー「スカルプケア」を組み合わせることで、お客さまの“理想の髪”をつくることのできるのが、ドレッシーケア最大の特徴です。

新たな第3のカテゴリー「ドレッシーケア」で、お客さまの“理想の髪づくり”を始めてください。



ReKERA リケラは、業務用粧剤です。

また、リトルサロン様、リトルメイト様だけが購入できる【フライト商品】です。

※掲載商品の仕様・デザイン等は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※表示価格はすべて税抜です。